

Dream Camp 第7回ドリームキャンプ

天候に合わせてプログラムを大きく変更



例年、この時期の東北は梅雨明けギリギリで雨が降ることもあり、さらに今年には台風12号の影響もあって2日目からは雨の予報とのことで、キャンプファイヤーとビュッフェスタイルの夕食を1日目に変更しました。キャンプ一番の楽しみを初日にするのは初めての試みでしたが、全体の雰囲気がよくなり、班活動にも活気が出てきたことには思いがけない収穫でした。

また、2日目の昼は曇天でしたが、海水浴もできませんでした。台風の進路が珍しく東から西に向かったため、波も穏やかで、子どもたちは、海に入ったり、砂に埋まったり、ピフミッドを作ったりと、大はしゃぎで、最高の時間を過ごすことができました。



キャンプ終了後、実行委員会から記念品のボールペンが、また大塚商会様寄贈のノートが参加者におみやげとして配られました

ひかり新聞

共生共助の社会をめざす

2018.10.3
No.35
一般社団法人
ひかりプロジェクト

7月27日(金)～29日(日)、第7回ドリームキャンプが宮城県気仙沼大島キャンプ場にて開催されました。台風12号の接近で天候が心配されましたが、前夜のスタッフ会議にて、急遽プログラムを組みかえ、予定した活動をすべて行うことができました。参加者は隊員80名、スタッフ60名の計140名でした。ジュニア隊では、今年初めて中学3年が3名参加。7年連続参加の子どもたちもいて、来年はサブリーダーとしての活躍が期待されます。

キャンプファイヤーを1日目に変更

例年、この時期の東北は梅雨明けギリギリで雨が降ることもあり、さらに今年には台風12号の影響もあって2日目からは雨の予報とのことで、キャンプファイヤーとビュッフェスタイルの夕食を1日目に変更しました。キャンプ一番の楽しみを初日にするのは初めての試みでしたが、全体の雰囲気よくなり、班活動にも活気が出てきたことには思いがけない収穫でした。

熊の出現？

熊(ツキノワグマ)が海を泳いで大島へ渡る姿がテレビで放映されました。島で見かけた人はなく、事故も起こっていませんでしたが、事前に話し合い、次のような対策を実施しました。

- ①夜間、スタッフが交代でパトロールを行う。
- ②熊撃退スプレーを用意。
- ③食糧は屋内に入れる。
- ④熊の嫌いな木酢液をキャンプサイト周辺に散布。

※大島の警察官にもパトロールしていただきました。

支援を受けて

毎年(株)カルビーよりお菓子の提供を頂いていますが、今回初めて、キリン福祉財団と大塚商会ハートフル基金から資金支援を受けることができました。また、両団体からキャンプ場にも視察に来られ、元気なこともたちや、全国から幅広い年代のボランティアが集まって活動している姿を見ていただきました。この取り組みが社会的な活動として認知していただけたと信じます。

キャンプ感想文

紙面の関係で原稿の一部を抜粋させていただきました。

エッグ隊

齊藤 優大 (小学1年)

ドリームキャンプで……うみからなみがちがついてきました。それ……はなびがたのしかったです。きもだめしがたのしかったです。キャンプファイアがたのしかったです。かもめのえさやりがたのしかったです。はまらいいんやがたのしかったです。ういねんもいきたいです。そとあそびもたのしかったです。カシ

ーライスをおそとでたべました。ことしはほしぞら班でした。はたづくりや、いろいろながたのしかったです。フェリーにのるのがたのしかったです。しつていともだちいてたのしかったです。気づいてくれてたのしかったです。たてものの中もひろかったです。かいだんのはなしもきけてよかったです。

佐々木 まな (小学3年)

わたしはドリームキャンプでたのしかったです。3つあ



エッグ隊 (隊員: 30名 / スタッフ: 17名)

1つ目は船にのったことです。わたしは船にのったことが1回もないので、とてもたのしかったです。かもめにかつばえびせんをやりました。とてもおもしろくて、帰りもやりたいと思いました。だけど帰りはやらないそうです。でも行くときにいっぱいあげたのでいいです。2つ目はキャンプファイヤーです。よるごはんをたべたあとにやりました。とてもあたたかかったです。海のかみほやジージもきました。とてもたのしかったです。さいごの3つ目は花火です。きもだめしのあとにやりました。500本の手持ち花火が



キャンプファイヤーは1日目に変更されました



エッグに大人気の花火です

ありました。さゆなちゃんといっしょにやりました。色がかわるやつや、パチパチ音がなる花火もありました。とてもたのしかったです。来年も行けたら行きたいとおもいます。

秋山 真輝 (班付リーダー)

昨年に引き続き、2度目の参加となりました。私事ですが、今年から実家の広島県を離れ、秋田県内の大学に通っています。地理的にも大島に近付いたということもあって、進学が決まると同時に、今年もドリームキャンプに参加させていただこうと強く決意したので覚えています。

昨年同様、エッグ隊の子もたはとてもパワフルで、たくさん元気をもらいました。日焼けで肌はヒリヒリするし、既に若干筋肉痛ですが、元気な子供達と一緒に走り回ったり、ご飯を食べたり、どの瞬間もとても印象深く記憶に残っています。

初日に比べると、みんな一人ひとりがこのキャンプを通して一回り大きく成長してくれたと思います。また僕自身も子どもたちと過ごす中で、いろんなことを教えてもらいました。

参加してくれた子どもたちが、この先も心身共に健康に成長し、来年、さらにたくましくなった姿を見せてくれることを願っています。



砂に埋まって…楽しかった!

ネスト隊

伊藤 玄 (小学4年)

ぼくは今年のドリームキャンプで楽しかったことが2つあります。1つ目は、料理です。あまりいけないがなかったけど、楽しく料理ができました。とくに朝につくった、フレンチトーストをつくるのが、楽しかったです。かまどでフライパンをつかって焼くとき、けむりがでて目がいたかったです。でも、上手くおいしくできました。2つ目は、夜にやったきもだめしとほわからなくて、いきなりやったのでこわかったです。とくにこわかったのは、がいこつがおいけてきたところでした。でも、さいごまでいけて、ごほうびももらえたので、楽しかったです。ぼくは今年、はじめてのネスト隊だったので、きんちょうついでいたけど、楽しく、3日間をすごせました。来年もぜひ皆さんかしたいです。

佐藤 里桜 (小学5年)

わたしは、今回で4回目のドリームキャンプです。その中でも楽しかったことは4つあります。1つ目は、キャンプファイヤーです。ほんとに2日目だったのが台風の影響で、1日目になりました。ネスト隊はジャンケンちじみをやりました。楽しかったです。



ネスト隊 (隊員: 37名 / スタッフ: 15名)

2つ目は、海水浴です。海の波がすごかったです。砂をほったら水もできま

3つ目は、野外すい飯です。カレーづくりなどの下ごしらえをしたり、木を割ってもやししたりして、大変だったです。4つ目は、きもだめしです。スタッフの人がおぼけをして、ゆくえふめいの女の子もスタッフがやっていて、「キヤー」といってしましました。

この2泊3日のドリームキャンプは、いろいろあって楽しかったです。友だちもできました。来年も来たいです。

奥田 ゆかり (班付リーダー)

初めてのドリームキャンプ参加でしたが、モットー3つ(①なにごとまごころで行います ②すべてに感謝します ③思いやりを大切にします)を3日間で感じる事ができました。キャンプスタート時点では、不安になつてさみしそうな表情、ドキドキとワクワクにあふれてキラキラした笑顔など、たくさんの表情がありました。そのときに、友だちに声をかけて助け合う思いやりがみられました。一緒に活動しているうちに男女での仲も深まり、まごころの成長もありました。

最後は、なかなか初日で「ありがと」と言うことができる子が少なかったですが、今もこうして作文を書いている横でえんぴつの貸し借りをしたり、消しゴムを借りたりの中で「ありがと」がたたくさんあふれています。大島の大自然の中で、子どもたちのモットーの成長と心の成長を感じました。私自身も今後ドリームキャンプでの経験を大切にしたいです。



1日目の夕食は「ピュッフェ」スタイル

千葉 優逢 (小学6年)

私は、今年で6回目のドリームキャンプでした。

1日目では、2日目にやる予定だった、キャンプファイヤーが一番思い出に残りました。ネスト隊の出し物のちぢみやじゃんけんをしたらねんざしちやいました。3日目までいたかったです。進化じゃんけんでは、勝ちまくって、神とあしくしゅができました。楽しかったです。

2日目は、フレンチトーストとカレーを作りました。フレンチトーストでは、下準備をして、カレーではかまどをやりました。どちらもとてもおもしろく作れました。2日目は海にも行きました。ちよつとつめたかったけど、入れてよかったです。今年も友だちもたくさんできたいし、とても楽しいキャンプでした。来年もできればいきたいです。



フレンチトーストを作っています

入田 大 (総リーダー)

今回もドリームキャンプに参加させていただきありがとうございました。気仙沼に足を運ぶのは今年で3回目になりました。年々風景が変わっていく街並みを見て、今年もDC頑張ろうと思ふことが7月末のルーティーンとなりました。

お天気の都合もあり、キャンププログラムに大きな変更がありました。各々が考え、行動したからこそ、混乱もなく終えることができたのではないのでしょうか。

幼少期より、キャンプと呼ばれるものには多数回参加しておりますが、初日にキャンプファイヤーをするといった経験は初めてでした。まだ子どもたちと打ち解けていないし、みんながキャンプの雰囲気になじんでいない状況で、うまくいくのだろうか、盛り上がるのだろうかと不安に思ったことがなんでもなくらい、みんな楽しそうにしています。そして各隊ごとの一体感のようなものが生まれたかのように感じました。

そういった大幅な変更の中、総リーダーというお役を頂いていた私は、今年はずっと先読みを余儀なくされ、身体よりも頭を使ったというのが、キャンプを終えての正直な感想であり、勉強させてもらったなと感じた部分でもありました。

また、熊出没の可能性、曇天の海水浴と、なかなかハードなキャンプにもなりました。見回りや低い海水温での海水浴と、自分のみならず、ほかのリーダーも



テントサイトで班会議

本当に大変だったと思います。ですが、そのおかげで、参加してくれる子どもが安心して楽しめ、信頼に繋がっている。今年には特に強く感じました。

そういえば、ある参加隊員からこんなことを言われました。「すいませ〜ん、キャンプなんですけど、3泊4日になりませんか？」と。そう思ってくれるくらい楽しいという、最高の誉め言葉だと思います。

今後もしも言ってももらえよう、微力ながらお手伝いさせていただきます。いつか隊員だった子どもたちとリーダーができる日が来たらと思うと楽しみでうね。



昼はおにぎり

海の水はちょっと冷たかったけど楽しかった！

ジュニア隊

内海紗季(中学1年)

私は今回、初めてジュニア隊に入りました。台風が近づいていて、予定通りの活動ができるか不安でした。でも、雨が少し降ったくらいで、台風がそれてくれました。そんな中で私が特に心に残ったことは4つあります。

1つ目は、2日目であった炊事です。2日目の食事は朝・昼・夜と全て自分たちで作りました。班のみんなで分担して、少しハプニングもあったけど、とてもおいしく作る事ができました。



ジュニア隊(隊員:13名/スタッフ:11名)

2つ目は、テント設置です。初めてやったので、いろいろと困ったことがありましたが、説明書を見たりして、協力してできました。

3つ目は、キャンプファイヤーです。ジュニア隊は、はまらいいんやをひろうしました。エッグ隊とジュニア(ジュニア→ネスト)隊の子たちもさそって、みんなで楽しむことができ、よかったです。

4つ目は、海に行ったことです。奇跡的に雨が降らなかったので、昨年は入れませんでした。今年は海に入ることができました。みんなで波に流されながら遊んで、とっても疲れたけど、とっても楽しかったです。今年初めてのジュニア隊で不安なこともたくさんありましたが、周りのみんなや、リーダーにとっても助けてもらったなと思います。今まで知らなかった子ども友達になれて、楽しく活動できて、本当に充実した楽しい3日間になりました。来年もまた来たいです。

吉田彩花(中学3年)

今まで参加したドリームキャンプは、ほとんどが雨だった。さらに今年も台風が近づいてくるという情報だ。大雨のキャンプを覚悟した。しかし、意外にも雨による被害はなかったのだ。初日から日程変更でキャンプファイヤーが1日目になり、「はまらいいんや」を急遽スタンプとして披露することになった。皆で踊りを覚え、キャンプファイヤーで披露したが、想像以上に盛り上がり、とても楽しかった。



今回は、テント設置もハプニング。日程変更続出。台風とクマに警戒しながら過ごす。そんなてんやわんやな3日間だったが、班の皆、ジュニア隊、リーダー達や、エッグ隊、ネスト隊、そして本部の方々、皆に支えられ、同じ時間を共有できたことが、とてもかけがえのないことなのだと思えた。自分にとって、とても有意義な時間だったと思う。

佐藤春香(中学3年)

「晴れるといいな」そう思いながら始まったキャンプ。天気はかろうじて晴れだった。でも、ハプニングが満載だった。テント設置の時、テントを袋から出してみると、骨組みがバラバラになっていて…。みんなで推理しながら組み立てた。暑い中での作業は、とても大変だったけれど、みんなで協力してたてることができた。

また、一番思い出に残っていることは、野外炊飯でカレーとサラダを作ったことだ。かまどに火をつける人、野菜を切る人と分担して作った。

出上がったカレーは、ピリッと辛くて、でも少し甘い、とにかくおいしいカレーだった。このカレーは今まで一番おいしかった。

今回のキャンプは、楽しいこともいくつかあった。このキャンプは一生忘れられない大切な思い出になった。

本部隊

高橋悦子(炊事班)

軽い気持ちでの初参加でしたが、事前の開催に当たっての説明、注意事項が書かれたコースブックなどの周到な準備、特に被災した子供達に注意しなければならぬことなど、事細やかに書いてあり、感心させられました。

初対面の人の多く集まるキャンプの成功は、組織内のよい人間関係、毎夜のミーティングで反省すべき点良かったこと



↑おにぎりを作る炊事班

↓ピュッフェのトウモロコシと焼きそば



を一つよつかと思ったが、メーカーに問い合わせても、この数日で改善されると思えない。ある意味諦めがついた。

普段は365日、永遠と作業に追われる。京都に行くのが、別府に行くのが、半分ぐらいの時間を電源とWifiを追いかけて過ごしてしまふ。

話し合い、翌日の確認をしっかり記録し、次回に備えるという主催側の精力的な取り組みがあることで功を奏していると感じました。一人ひとりが自分の持ち場をしっかり果たしていたようでした。特に直接、子供達に接するスタッフは、24時間見守り、まっすぐ向き合い、全力投球する姿は、とても感動しました。たくさんの方のサポートを教わっていただいた思い出に残るキャンプでした。

延原優樹(記録写真担当)



島へ行く。

普段からフリーランスとして働き、毎日違う場所へ撮影しに様々行く日々。海に囲いを囲まれるような閉鎖的な空間へ身を置くことは、そんな多くはなかった。仕事のやりとりができるのか？そんな不安があり、モバイルも通じない場所だ、と事前に調べて安心していた。フェリーに乗り、海鳥がかっぱえびせんを食べるのを見て楽しみ、子どもや、はしゃぐ大人の写真を撮りながら、楽観的な気持ちで島についてみると、モバイルもどっちにも繋がらなかった。裏切られた気持ちになって、クレームをつけようかと思ったが、



本部隊(17名)

ブラジル留学生
Ferreira guimaraes
filho Nilton
ニックネームは
ニュートン

大島では、そんな時間から離れることを許してくれた気がした。子どもと広い芝生で走り回る40歳？。虫を捕まえて見せてくれる子。なかなか班に馴染めない子。はしゃぐ子。どこか浮かない顔をしている子。うたた寝する大人。そんな様子を眺めて、みんなの空気を吸う。

普段より幾分か、人の気持ちだっさり、動きを感じられた気がします。そんなことを思いながら、皆さんの写真を撮り、過ごさせていただいた3日間でした。ありがとございました。

普段の生活も、自分自身でもっと周りの人と向き合う時間を作りたいと思います。

写真撮影・延原優樹・阪本正雄
犬塚真子(敬称略)



浜辺でつくったピラミッド

「笑って、歌って、お茶会」を開催

9月1・2日

熊本県 益城町・西原村



今回は初めて落語も入れた活動です。大阪の河内家雷三さんを招いての会。会場は爆笑に包まれて、参加者は「久しぶりに、思い切り笑ったよ!」と言ってくださいました。



今回で4回目となる、次の3会場での活動です。9月1日は10時から12時まで益城町安永東仮設団地、午後は13時から15時まで同じく木山上辻仮設団地で、翌2日は、隣の西原村小森仮設団地で10時から12時まで開催しました。今年3月に、餅つきと歌の会を開催した時とは、それぞれの団地の様子はすっかり変わっています。自宅を再建して、仮設から出ていく方が増えたからです。それとても喜ばしいことですが、一方で空き家の目立つ仮設で、めどのない方々もいらっしやいます。お茶会では、お一人おひとりの今の様子をじっくりと聞かせていただきました。参加された一人の方が「私らのこと、忘れないでね!」と言われた言葉が、ずしりと胸に響きました。

また木山上辻では、近くの木山仮設に住んでいる子どもたちで作っている音楽グループ「スマイル」のみなさんが、震災復興ソング「しあわせ運べるように」には、目頭が熱くなりました。小森では、歌を楽しむ会の中で、「私が歌います」と3曲ほどマイクを持って歌ってくださった男性や、熊本の民謡を歌ってくださったおばあちゃんなど、とても盛り上がりました。今回、大阪から来ていただいた河内家雷三さんは、社会人落語家として50年のベテランですが、落語のとほけた語り口とは別に、「本当に皆さん大変な生活をされていて、今回の落語でちょっとでも皆さんの気が晴れたらうれしいです!」と語っておられました。参加された方々はスタッフも含め、安永東19名、木山上辻31名、小森30名でした。横浜、福岡、熊本から参加いただいたスタッフの皆さん、ありがとうございました。

←西原村、災害公営住宅

2日に訪れた西原村では、県下で最も早く山西地区に災害公営住宅45戸が8月末に完成し、引っ越しも始まっていました。



スタッフのみなさん

ひかり新聞 No.35 2018年(平成30年)10月3日

発行者：一般社団法人 ひかりプロジェクト

〒401-0304 山梨県南都留郡富士河口湖町河口1975

電話 0555-72-8191 FAX 0555-76-6696

https://hikari-project.jimdo.com/ E-mail: hpa@road.ocn.ne.jp